

# 第 15 回けん玉道関西グランプリ 2017

## 大会要項

- 1、目的：平成 29 年度の新学年となり、関西けん玉界を占う大会として位置づけ「全日本けん玉道選手権大会」に向けて、けん玉の技術向上とともに、精神力を鍛え、個々の課題を明確にする。
- 2、日時：2017 年 4 月 23 日（日）午前 9 時集合、9 時 30 分受付、10 時開会式
- 3、会場：ゆーとあい（にしなり隣保館）〒557-0024 大阪市西成区出城 2 丁目 5 番 9 号  
電話：06-6561-8801  
交通：JR 大阪環状線今宮駅から徒歩 10 分（約 700m）
- 4、主催：日本けん玉協会関西ブロック総支部
- 5、参加資格と部門：関西地区（2 府 4 県）在住であること
  - ①中学生以上の部  
中学生以上で認定段位弐段以上の者  
※優勝者には「第 39 回全日本けん玉道選手権大会」の関西シード権が与えられる  
日本けん玉協会認定段位を持たないものについては、事前に実力検査を行い、二段以上の実力を認めた場合、大会に参加できる
  - ②小学 5・6 年生の部  
将来「全日本けん玉道選手権大会」の出場を目指す小学 5・6 年生
- 6、参加費：一人 1000 円
- 7、持ち物：日本けん玉協会公認のけん玉、筆記用具、上履き、昼食、飲み物
- 8、その他：けん玉検査で不合格になった場合に備え、予備のけん玉を準備しておくこと。

【けん玉検査】競技開始前に審判員による使用けん玉の検査を行う。

- ・使用けん玉は、日本けん玉協会公認けん玉（新富士、新さくら、TK-16、夢元、大空）
- ・使用するけん玉は、できるだけ「新品の品質」を保持しなければならない。
- ・けん玉識別のための記名などは、必要最小限の大きさとし、明らかに試技の目印となる場所にしてはならない。
- ・ワレ、カケ、キズ、ハガレ等、使用けん玉の競技に「影響するか、しないか」の判定に当たっては、審判団の協議により決定する。従って、選手は自分で用意したけん玉の使用が認められない場合を想定して、常に予備のけん玉を用意しておくことが要求される。

### 《予選・得点制競技》

- ・大会選技①～⑫の 12 種目を 2 回ずつ行う。
- ・各試技 1 回目の成功につき、1 点とする（合計 24 点満点）
- ・各選手の試技は、審判が「成功」及び「失敗」を判定した瞬間に完了する。
- ・各試技は審判の「はじめ」のコールを聞いてから 15 秒以内に開始し「時間です」のコール（「はじめ」から 40 秒）までに技を完了しなければ「失敗」とする。
- ・「はじめ」のコールの前に試技を行った場合、その試技は失敗とする。
- ・「時間です」のコールと、審判の判定が同時であった場合、審判の判定を優先とする。
- ・「時間です」のコールは、全員の試技が 40 秒以内に完了した場合は行わない。

- ・試技が別の選手の試技により妨害された場合は、やり直しを求めることができる。  
(挙手により、主審・副審・大会スタッフに合図し、審議により再度試技は出来る。)
- ・同点の場合は、以下の方法に基づいて順位を決定する。
  - (1) 12種目の1回目の合計得点の高い人が上位とする。
  - (2) 1回目も同点の場合はサドンデスを行う。技の順番は審判がくじを引いて決定する。サドンデスは一順を限度とし、決着しない場合は「全日本タイム競技」を行なう。
- ・予選得点順に各部門上位8位(1位～8位)が、決勝トーナメントに進出する。
- ・敗者復活戦は行わない。

#### 《決勝・トーナメント戦》

- ・決勝トーナメントの組み合わせは、予選の順位により、決定する。
- ・先攻後攻については、トーナメント表の左側の選手が先攻とする。
- ・選技は、各クラス規定の①～⑫の種目からくじ引きで決める。
- ・主審の「はじめ」のコール後15秒以内に試技を開始し、40秒以内に試技を完了すること。
- ・試技及び、タイム競技において、主審の「はじめ」のコールの前に試技を開始した場合は、その試技は無効として注意が与えられる。その選手が2度目の注意を受けた場合は、その時点でその試技は失敗とする。3度目以降も同様。回数は決勝トーナメント中、累積する。
- ・1回戦と準決勝、3位決定戦について、4本勝負(2本先取勝ち)
- ・決勝戦については、6本勝負(3本先取勝ち)
- ・各試合、規定の本数で同点となった場合は「全日本タイム競技2015」で勝負を決める。

#### 《表彰》

- ・各部門 「優勝」「準優勝」「第3位」

#### 《連絡先》

- ・この大会に関する質問、お問い合わせは下記まで  
日本けん玉協会 関西ブロック総支部 事務局  
奥野 睦夫(電話:090-9119-9608)、E-mail:alpacakendama@gmail.com  
HP:日本けん玉協会関西ブロック総支部 2010kendaman.com

#### 《けん玉道関西グランプリ2017大会選技》

- ①二回転飛行機
- ②つるし一回転飛行機～はねけん
- ③回転うぐいすの谷渡り
- ④うずしお灯台～さか落とし
- ⑤一回転すくいけん
- ⑥ふりけん～一回転けんフリップ地球まわし
- ⑦二回転灯台～一回転さか落とし
- ⑧宇宙遊泳一回転飛行機
- ⑨極意わたり
- ⑩円月殺法(空中のちかえ)一回転灯台
- ⑪変動種目 「一回転月面着陸」
- ⑫変動種目 「聖火点燈」

#### 全日本タイム競技2015

- ①ろうそく返し、②前ふりうぐいす～回転けん、③ヨーロッパー一周～地球まわし
- ④円月殺法、⑤宇宙遊泳、⑥つるし一回転灯台～さか落とし

## ⑪一回転月面着陸

【持ち方】 玉の持ち方

【技の動作】 一方の手で玉を持ち、他方の手でつり下げたけんを持って手前に引き寄せ構える。  
けんを放してけんを前に振り出し、玉を手前に動かしてけんを引き空中でけんを手前に  
5/4回転させ、玉の上に大皿（小皿でもよい）を乗せてけんを静止させる。けん及び体  
の動きを少なくとも3秒静止させること。

【注意事項】

- ・ 構える時、皿胴に糸を引っかけてはならない。
- ・ 玉の上に小皿を乗せてけんを静止させてもよい。
- ・ 玉の上に大皿（小皿）を乗せた時のけん先の向きは問わない。
- ・ 玉と皿の間に糸がはさまった場合は可とする。
- ・ 月面着陸を成功させた後、主審の「成功」の合図（挙手）があるまでけん玉と体を静止させておくこと。
- ・ けんが玉を持つ手或いはその他の体・物に触れた場合は失敗とする。
- ・ けんを振り出すために、膝を曲げ伸ばす動きや体でリズムをとるなどの予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。
- ・ けんを手を持たないで構えている場合、けんを前後に振り始めた時点で、技が開始されたと見なす。
- ・ けんを前に振り出すなど技を開始した後に、再び手でけんを押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動きを行った場合は動作の中断しやり直した見なす。

## ⑫聖火点灯

【持ち方】 玉の持ち方

持ち替え後の持ち方      ろうそくの持ち方

【技の動作】

「飛行機」を完成させた後、けんを投げ上げけんを手前に1回転させ玉を投げ上げ、けん先をつかみ玉を中皿に乗せる。

【注意事項】

- ・ けん先が完全に玉の穴に入ること。
- ・ けんを投げ上げるための、膝をまげる手を上下させる等の予備動作を開始した時点で技が開始されたとみなす。
- ・ 技を開始した後に、投げ上げようとしたけんが玉の穴から抜けなかったので、再び投げ上げるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやりなおしたと見なす。
- ・ けん先をつかんだ時に、皿胴を持ってはならない。
- ・ 玉が中皿に乗った時、玉と皿の間に糸がはさまった場合は可とする。
- ・ 技は片手で行うこと（玉を持った手でろうそくの持ち方に持ち替えること。）
- ・ 連続技における修正行為の禁止事項をまもること。
- ・ 「飛行機」完成までの動作及び注意事項は「飛行機」の項目を参照のこと。